

大連工場ニュース

日本本社と大連工場の連携

当社は、商品企画から細かなパーツ製造、塗装に至るまで、全て自社で一貫生産することで、安定的な品質管理やお客様のご要望に迅速に対応しております。



お客様に安心してお使いいただくため、桐材は自社で再加熱処理をしております

桐は、日本政府の紋章であり、古くから高貴な素材として重宝されてきました。その性質は、保湿性に優れ、湿気に強く、抗菌作用があり、また、その柔らかな肌触りは心地良さや温もりを感じさせます。

しかし、その一方、桐食い虫の被害が拡大しております。桐の生産業者も、煮沸や、天日干し、また、最終的な強制乾燥などの工程を得て、除虫を試みております。

弊社では、入庫した桐材を、更に特殊な大型電子乾燥機に通すことにより、万が一、虫の幼虫や卵が桐材の中に入り込んでいる場合でも、駆除することが可能となっております。

桐材の流れ

- 伐採** 主に山東省の桐材を使用しております
- 煮沸** 製材後、温水に数週間漬け込み、アクをとります。
- 天日乾燥** 桐材を取り出し、天日干しを数週間に渡っておこないます。
- 強制乾燥** 約60度の感想釜に入れて、48時間以上乾燥をします
- 再乾燥** 大連工場にてマイクロウェーブによる虫の駆除をおこないます。



加飾から塗装まで一貫作業

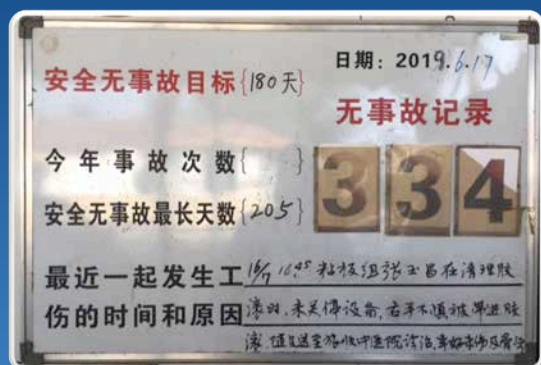
加飾から塗装まで自社で一貫作業するのが、平成大連工場の強みの一つであり、それにより、商品開発までのスピードと、お客様のご要望に細かに応えることができております。

しかし、そのことにより、プリント加工パーツと無垢加工パーツが現場の中に混在して、キズが入りやすくなったりと、様々なマイナス要因が存在しています。

大連工場では、そのような問題を、工程の中で防いでいく工夫をしてまいりました。

プリントに関しましては、レザー製の緩衝材を挟み込むことにより、プリントとプリントの間のルーターのノコ屑によるキズを防いでいます。

また、様々な面形の部材を効率よく研磨するために、その面形にあったジグを作成したり、人の手では難しい箇所での研磨では、ブラシを使った研磨器具を導入、活用したりしています。



安全生産にむけて

中国では建国 70 周年にあたり、生産工場へむけて、環境面、安全面の対策を徹底するように要請がきております。

大連工場も、その政策に対応すべく、様々な取り組みを行っております。

その甲斐あり、無事故の最長記録は 300 日を超えることができました。